



子宮頸がん早期スクリーニング検査について

—HPVセルフチェック「&Scan」のご紹介—

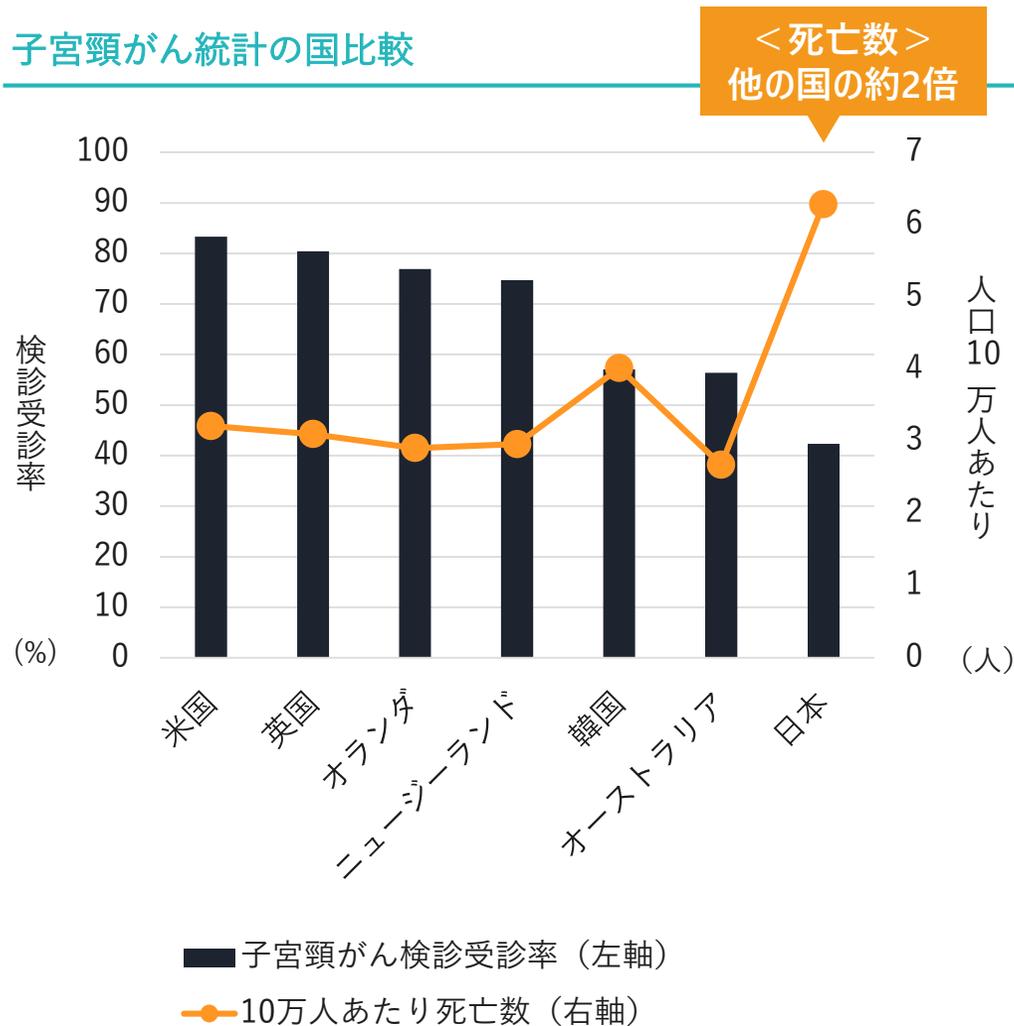


子宮頸がんの現状



欧米などの先進国では“**絶滅しつつあるがん**”と言われるが、日本に限っては増加傾向にある

子宮頸がん統計の国比較



日本の現状

日本の罹患率・患者数は、先進国で最低水準

- ①過去10年、20代・30代の罹患率が2.5倍増
- ②他の先進国と比較して、死亡率が2倍

なぜ欧米と大きな差が生まれたのか？

- ①HPVワクチンが普及していない
- ②検診受診率が圧倒的に低い (先進国の半分程度)

しっかりと対策ができれば完治するがんであるにも関わらず
対策が進んでいないために日本では社会問題化している

子宮頸がんの疾病メカニズム

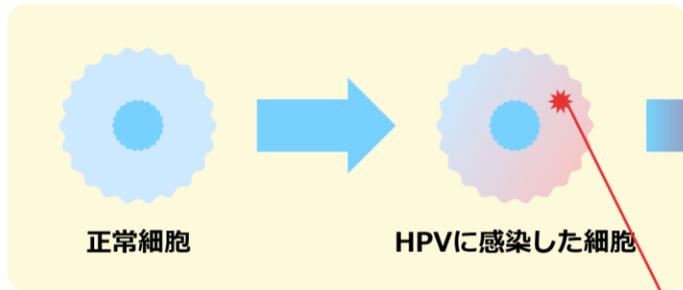


性交渉によるHPV感染が原因。

HPVは、**8割の女性が一生に一度は感染する**と言われている身近なウイルス。

自覚症状無し

自己採取型HPV検査によって判定可能



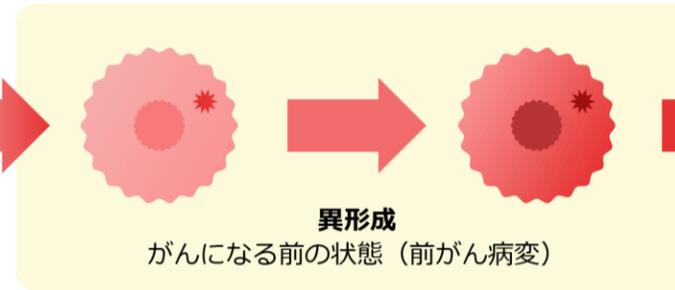
9割以上の感染は自然消失
(一過性)



正常細胞

HPV
(ヒトパピローマウイルス)

細胞診によって判定可能



- ① ここまでに発見すれば**完治可能**
(円錐切除によって子宮を残せる)
- ② 2~3日の入院手術で治療完了
(生活/仕事への影響もなし)

不正出血などが発生し
ようやく発覚

- ① 子宮全摘出が原則必要
(**出産が不可能**に)
- ② 長期間の闘病生活
(生活/仕事に影響大)
- ③ 副作用に悩む事も

HPV感染からがんになるまで約**10年**

サービス概要



ハッチヘルスケア社の『&Scan』は、高品質で低価格が実現するHPV郵送検査キットです。



特徴

- ① 申込～結果通知までWEB完結
岩盤層の取り込みに最適
(未受診者でも20%以上の申込率)
- ② 安全性の高いキットを採用
圧倒的に高いユーザー満足度
(97%が「再度受けたい」と回答)
- ③ 万全のフォローアップ体制
細胞診受診まで徹底的に勧奨
(特定健診の受診勧奨もサポート可)